

特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

守ろう棚田と景観 育てよう地域の花 つくろう地域の輪

活動エリア 新潟県上越市安塚区

応募者 朴の木自治会、上越市立安塚小学校、上越市立東頸中学校（旧安塚中学校）、上越市安塚区おぐろ地区指定棚田地域振興協議会、上越市役所安塚区総合事務所

活動概要

新潟県上越市安塚区は、市町村合併前の1985年にまちづくりの一貫として「花いっぱい運動」を始め、今日まで区内全域で継続されている。朴の木地区は就農者の高齢化、担い手不足のため美しい棚田が荒廃する状態であった。しかし、景観整備を通じて地域を誇りに思える活動として、休耕田に柳葉ひまわりの植栽を始めた。その活動に地元の小・中学校、活動団体が賛同し、活動内容が広がった。毎年10月に安塚区内全域で開催される柳葉ひまわりのイベント「黄金の回廊」には、市内外から多くの来訪者がある。同時期に、朴の木地区で開催する「天空のお花畑・棚田カフェ」と名付けたイベントにも多くの方が訪れ、整備された棚田の景観を楽しんでいる。また、小学5、6年生は、景観を維持する活動が、棚田の働きとして、動植物を育み、災害を防止するなどに密接な関係があることや景観を守るためにどうしたらよいか自ら考え、活動につなげている。

審査講評

棚田とその周辺に柳葉ひまわりを植え、花に彩られた景観を觀賞するイベントを開催する活動は、工夫に溢れたものでした。寒さに強く、開花直前までは丈が大きくなり柳葉ひまわりは、棚田で稲作を行いながら育てるにはふさわしい植物であることが、現地審査で分かりました。さらに、美しい風景のみならず、棚田を利用した稲作に従事している方々の、地域に対する熱い思いがあることが確認されました。朴の木の文化を大切に、それを伝えようとする方々の熱意が、朴の木地区に強い絆をつくっている様子が伺われました。この地域に長く住む大人と、子どもたちの交流は、一時的なものではないことが掲示されていた感謝の手紙から伝わりました。素晴らしい自然、豊かな人々とのかわりの中で育つ子どもたちは、恵まれた環境で成長することができているようです。柳葉ひまわりの美しさと共に、朴の木の文化そのものが多くの人々に伝わることを期待し、特別賞としました。人口の減少する中、統廃合された中学校との関係を構築するなどの課題に向き合い、今後も活動を継続されることを願います。（楚良）



柳葉ひまわりで満開の花畑。



毎年6月に集落の指導により行われる、小学5、6年生による約1,500本の花苗の植栽作業。



二番目に大きな花畑にのぼり旗を設置する中学生。地域の皆さんの指導によりイベント準備を進める。



2023年度「天空のお花畑・棚田カフェ」の様子。小・中学生も参加して活躍。多くの人々がイベント会場から見える景色を楽しんだ。